

実践事例 No 1 テーマ『学校の家庭学習強化と家庭の支援（家庭学習）』

岩手町；東部中学校実践区

＜東部中学校「まなびフェスト」における家庭学習についての目標＞

- ★ 「家庭学習」… 学校、家庭、地域による生徒の健全育成
- ・ 家庭学習の習慣化

1 こんな課題が（H20.11.29 現在）

「家庭の過ごし方」についてのアンケートを実施した結果、「手伝い」の項目は、前年よりよくなったが(+9)、「家庭学習」の項目は、前年より悪くなった(-9)。このことから、家庭学習の習慣化に向けての取り組みが必要である。

2 課題解決のための取組内容と目標は

- (1) 学校では、「家庭学習教科の曜日設定」を行う。
- (2) 家庭では、「声かけ」や「励まし」を行う。

3 どんな役割と連携で

保護者

- ・「支える」「見守る」支援…声かけや励まし

学校

- ・家庭学習のシステム作り…家庭学習教科の曜日設定と教科担任による点検指導

地域

- ・保護者の「支える」「見守る」支援の応援

4 どんな実践を

- (1) 「家庭学習教科の曜日設定」について



「教育を高めて進む町づくり大会」での実践発表

ア、学校では、曜日ごとに家庭学習で取り組む教科を指定する。

イ、家庭学習ノートを提出させ、教科担任が点検する。

ウ、教科の特色等を考慮しながら、家庭学習を評価するとともに、個に応じた効果的な取り組み方を指導する。

(2) 「支える」「見守る」支援について

ア、家庭では、子どもたちの家庭での取り組みを促すような「声かけ」を行う。

イ、子どもたちのがんばりを「励ます」ことにより、さらなるやる気を引き出す。

ウ、地域行事等で、地域の人からも、この取り組みについての励ましの声かけをしてもらう。

5 目標達成度の評価方法は

「家庭の過ごし方」アンケートを年度2回実施し、1回目と2回目の比較により評価し、改善を図る。

6 取り組みの結果（H21年度の実態把握より）

平成21年度のアンケートによると、手伝いの項目(+12)も家庭学習の項目(+17)も良くなり、これは3者の取り組みの成果だと思われる。

しかし、「家庭でテレビなどを見る時間を決めているか」の項目では、すべての家庭で決めておらず、それが、「一日で一番時間をついやしているのは何か」の項目で、テレビがトップになっている要因であると思われる。

今年度もこれらの実態をもとに、新たな課題を設定し、取り組みを強化していきたい。